



第29号

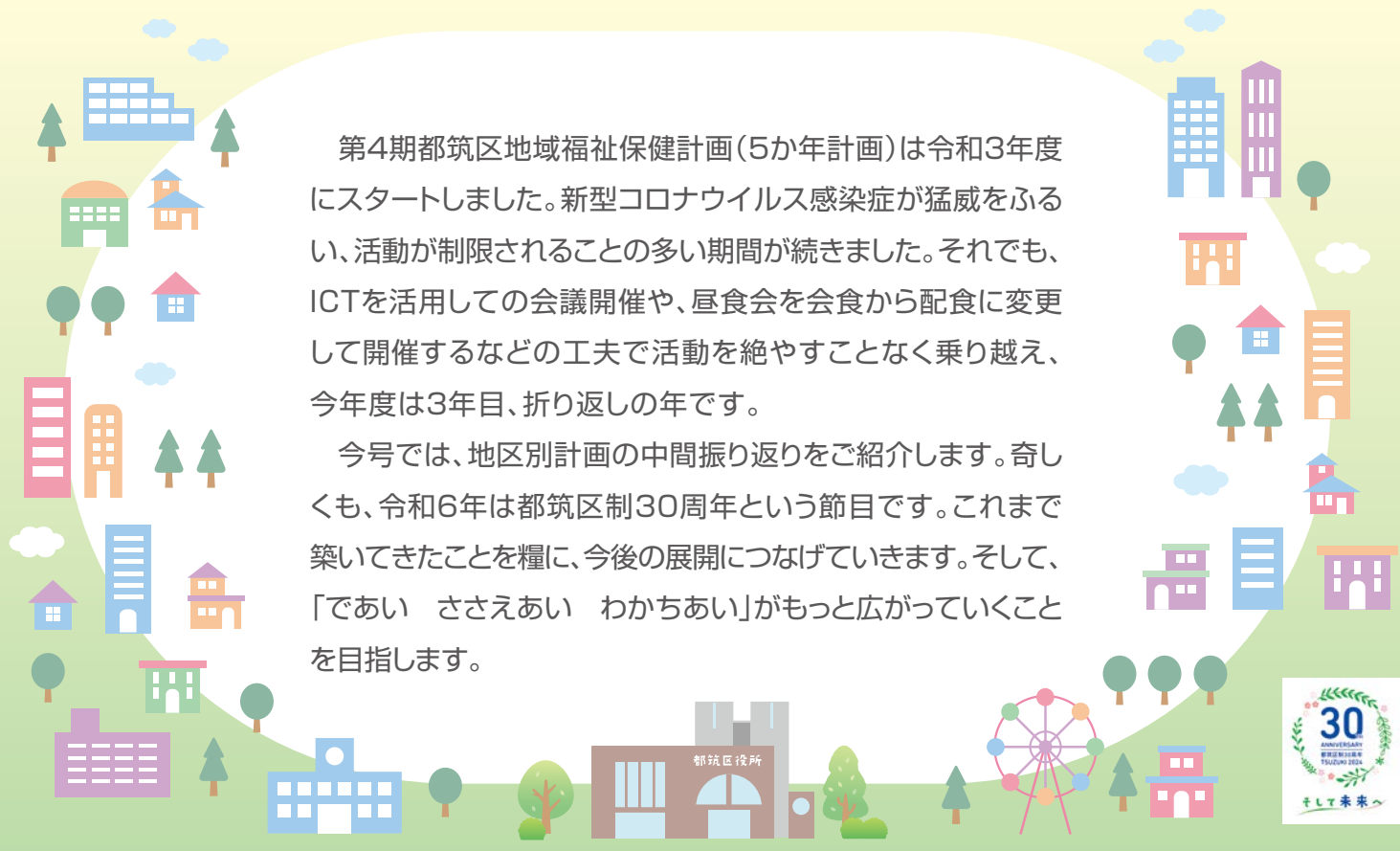
今号の内容



都筑区の未来に向けて

第4期都筑区地域福祉保健計画
地区別計画 中間振り返り

「つづきあい通信」は、都筑区地域福祉保健計画「つづきあい」を推進する地域の取組や、関連情報を紹介する計画情報誌です。



第4期都筑区地域福祉保健計画(5か年計画)は令和3年度にスタートしました。新型コロナウイルス感染症が猛威をふるい、活動が制限されることの多い期間が続きました。それでも、ICTを活用しての会議開催や、昼食会を会食から配食に変更して開催するなどの工夫で活動を絶やすことなく乗り越え、今年度は3年目、折り返しの年です。

今号では、地区別計画の中間振り返りをご紹介します。奇しくも、令和6年は都筑区制30周年という節目です。これまで築いてきたことを糧に、今後の展開につなげていきます。そして、「であい ささえあい わかちあい」がもっと広がっていくことを目指します。



都筑区地域福祉保健計画「つづき あい」とは

都筑区地域福祉保健計画「つづき あい」は、区民、団体、企業、区内地域ケアプラザ、都筑区社会福祉協議会、都筑区役所等が、地域課題に対して共に取り組み、誰もが住みなれた地域で安心して暮らすことができることを目指しています。

地区別計画の
中間振り返りの
データはこちらから

基本理念

人と人との
「であい ささえあい わかちあい」

目指す姿

であいが広まり、お互いにささえあい、
地域がもつ力をわかちあえる地域づくり



地区別計画

地区別計画は、都筑区内の15の連合町内会自治会エリアでつくられました。

それぞれ地域が主体となって、目指すべきまちの姿や地域のさまざまな課題に対して取組が行われています。



1

東山田地区の中間振り返り

こんなことを取り組みました

- 地域懇談会では、防災について楽しく考えることができるように、ゲーム形式のワークショップを盛り込みました。また、PTAにも参加してもらい、若い世代や子ども目線の話を取り入れる工夫をしました。
- 夏祭りでは、初めて実行委員会を設けて実施しました。
- 地域の誰もがちょっと立ち寄れるカフェや福祉団体に対して継続した支援を実施しました。



夏祭り

これからここに力を入れていきます

- 防災について継続的に考えることのできる企画運営
➡ 地区懇談会、工夫を凝らした拠点訓練等
- 夏祭りや運動会など大きなイベントはもちろん、福祉団体や活動団体の支援をすることで顔の見える関係づくり、支援を必要とする人に支援を届けることができる地域づくりをすすめていきます。
- 上記2点は連動していることを意識してすすめていきます。

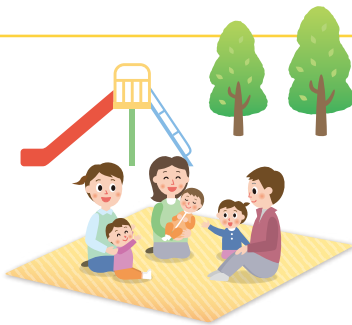


三丁目カフェ



こんなことを取り組みました

- 伝承行事等、コロナによって中断していた行事を再開しました。より世代間交流ができる取組、町内会館がより便利になるような取組、ハード面で改善が必要と思われる箇所の確認を行いました。
- 連合に加入していないマンションと顔の見える関係づくりに取り組みました。



山田富士公園遊び

これからここに力を入れていきます

- 活動や行事のマニュアル化、世代間交流のできる活動、ボランティア活動ができる環境づくりをすすめて、若い世代に町内会について興味を持ってもらえるようにしていきます。
- たくさんの地域活動がありますが、活動の主体や参加者の傾向等わからないことが多いので情報を整理し、周知を行っていきます。
- 誰もが集える居場所づくり → 検討会を実施します。



北山田昼食会



こんなことを取り組みました

- 地域福祉保健計画に基づき、「地域で暮らす仲間との散歩を通して心の健康を育む」ことを目標に、中川地区社会福祉協議会主催ではじめて「みんなでお散歩」を令和5年2月23日に開催。74名が参加してまち歩きを楽しみました。
- 地域の子どもたちが夏祭り・敬老会等のイベントにボランティアとして参加することで、地域の中での多世代交流や子どもたちが地域の活動に参画する機会の創出を図りました。
- 高齢者・障害者を対象に定期的な見守り訪問等を行うことで、コロナ禍においてもつながりを絶やさず、地域住民の安心につなげることができました。



ワイワイ祭り

これからここに力を入れていきます

- 連合の加入・未加入を問わず、より良い地域にしていくため、まずはお互いの状況や課題などの共有について呼びかけます。
- 子ども会支援やさまざまなつながりを大切にしていきます。
- 中川地区内での活動・取組の情報を共有できる様に可視化を行い、新たな参加者・担い手を増やし、いずれは誰でも地域活動ができる仕組みをつくっていきます。



敬老会



勝田茅ヶ崎地区の中間振り返り

こんなことを取り組みました

- 幅広い年代の方に参加してもらえよう、芋掘りやイチゴ狩り等のイベントを開催しました。地域活動の際には、SNSを積極的に活用し、周知や募集を行いました。
- さわやかデーや夜間パトロール、ゴミ拾い活動を通じて顔の見える関係づくりに取り組みました。
- 公園清掃やバス旅行、打楽器やジャズのコンサートなど、コロナ感染症後にむけた新たな地域活動を開始しました。



夏祭り

これからここに力を入れていきます

- 今ある地域の活動を継続するため、高齢化など地域の現状に合わせて、活動内容の見直しや充実を図ります。
- 世代ごとに特化したイベントと全世代参加型のイベントを企画し、住民同士の顔の見える関係性づくりを行います。
- 防犯、防災、要援護者支援の仕組みづくりやマニュアル化を行い、「安心できる」「入って良かった」と思ってもらえる町内会を目指します。



敬老会



かちだ地区の中間振り返り

こんなことを取り組みました

- おもいやりネットワークの各活動を開催の方法や内容を工夫することで、コロナ禍でも途切れさせることなく継続しました。その中で、住民同士の新たな見守りの活動も生まれ、「めくばり・きくばり・おもいやり」の精神が住民にも根付きました。
- 安否確認訓練では防災について全戸アンケートを実施、災害対策の現状確認を行うとともに、防災意識の向上を図りました。
- 団地内に住むウクライナからの避難者に、日本食を知ってもらうため、ふれあい昼食会のお弁当の配付を始めたことがきっかけで、住民との交流の場ができました。また、さまざまな機関と連携したことが、避難者の方のための相談室や日本語教室の設置につながり、テレビ神奈川の取材も受けることになりました。



ウクライナの方との交流

これからここに力を入れていきます

- 新たに「笑顔であいさつ」を合言葉に、挨拶で住民同士の緩やかなつながりづくりとさりげない見守り活動へつなげます。
- 認知症の講座や勉強会を行い、認知症になっても安心して暮らすことができる団地を目指します。
- おもいやりネットワークの各活動をこれからも継続していきます。
- 学生や子どもたちと顔の見える関係性を作るために、時季に合わせたイベントの実施や子どもたちを講師に迎え、スマホ講座を企画します。



安否確認訓練

こんなことを取り組みました

- 支えあい希望者を対象に、サロンを開催することが出来ました。
- 月に1回 公園であそぼーを継続して開催することで、子どもたちだけでなく、親御さんの交流や一息つく場所にする事ができました。
- 子ども向けに花火大会やラジオ体操後にイベントを行いました。
- 歌声喫茶ゆいぴーは、リフレッシュとしてだけでなく、地域の交流の場とすることが出来ました。



芋煮会

これからここに力を入れていきます

- 地域のみんが、楽しく参加できるような夕涼み会の再開に向けて、準備委員会を立ち上げます。
- 歌声喫茶ゆいぴーや公園であそぼーなどの地域活動を、今後も継続していきます。
- 緑道を利用したウォーキングイベントを企画・実施します。



防災訓練



こんなことを取り組みました

- 「健康チェック」実施等を通じて健康への意識を高めました。
- 福祉施設や企業等との日頃のつながりづくりを進めました。
- 町内会へ「都田地区イベントカレンダー」の作成協力を呼びかけ、ひな型が完成しました。



これからここに力を入れていきます

- 定期的に「健康チェック」を実施し、活動の定着と地域の活動をPRします。更に、地区社協周知の為のPR活動をします。
- 「ながら見守りチラシ」「都田地区イベントカレンダー」等を作成し、定期的に発行していきます。
- 令和5年11月「地域懇談会」を開催し、約100名の方にお集まりいただき、地域福祉保健計画のテーマに基づいてグループワークを実施しました。振り返りを行い、後期の取組に活かしていきます。



健康チェック



地域懇談会



池辺地区の中間振り返り

こんなことを取り組みました

- 定例会や定期清掃、自治会だよりを発行・配布して情報を共有しました。
- 新しい人の協力があり、月2回の防犯パトロールを継続できました。
- 盆踊り、グラウンドゴルフ、老人会のお茶会(定例会)、ファミリーカフェ、サロンほほえみ、健康のつどい、赤ちゃん会、公園であそぼうを開催しました。
- 公園清掃や花壇の整備を子どもが自主的に手伝ってくれたことからつながりができ、保護者への自治会アピールにもつながりました。
- コロナ禍で工夫した屋外活動の芋ほりや花火イベントは子どもに定着しつつあります。
- お互いの声掛けなど「近助」はできています。
- 食支援「おすそ分け会」を実施しました。



竹細工教室

これからここに力を入れていきます

- 自治会ホームページを整備して、二次元コードの活用など情報の発信・検索ができるように検討していきます。
- 子育て世帯も対象に含むちょこっとボランティアに興味があり、池辺全エリアで検討を進めていけたらと思います。
- 地域サロンの再開に向けて、会場を分散するなど開催方法を検討し、その中で見守りも行っていききたいと思います。
- おすそ分け会を継続実施していきます。



例大祭花籠披露

佐江戸加賀原地区の中間振り返り

こんなことを取り組みました

- 日常生活の中で、地域の子どもの安全・安心のため、道路・公園等において子どもを見かけた際、周りからそっと見守り、必要に応じて声掛け等を行う「みんなで見守り」活動を開始することができました。(現在104名の会員が活動)
- 支えあい連絡会を定期的に開催し、参加団体の活動の情報共有や意見交換など団体同士のつながりづくりやよりよい地域にするための話し合いを行いました。
- コロナ禍の影響でイベントが実施できない中、開催内容を変更工夫して三世代交流会やその他の取組を実施することができました。



ちょこっとボランティア

これからここに力を入れていきます

- 新型コロナの5類移行に伴い各事業を積極的に進め、目標実現に向けて活動していきます。
- 「佐江戸加賀原みんなで見守り」活動について、広報をすすめて地域に浸透させていきます。



三世代交流会凧揚げ



こんなことを取り組みました

- 連合町内会のホームページを開設し、防災情報やイベント、施設情報等さまざまな地域の情報を掲載しています。
- 都筑区役所と協定を締結し、要援護者の方の情報提供を受け、日頃からの見守りにつなげています。(都筑が丘第2自治会)
- 防災・減災アンケートを実施するとともに、そなえマップ(抜粋版)や救急隊への情報提供キット、洪水・内水緊急時そなえマップを各戸配布しました。
- 川和連合ふれあいたいの活動を継続し、地域の見守り活動を行っています。また、町内会・自治会における「つながり♡ネット会議」や「福祉ネットワーク交流会」を開催しました。
- ポッチャクラブを創設し、新たな交流の場を設けました。 ● コロナ禍で休止していた各種イベントを再開しています。

これからここに力を入れていきます

- 送迎サービスについて、ボランティアによる送迎と相乗りタクシーによる送迎に関して、検討を進めていきます。相乗りタクシーによる送迎では、ニーズを集約して運用について事務局で検討し、民生委員が主催するサロンで試行します。
- 知り合いを増やし、さまざまな場を通じて情報を発信し、声をかけて参加してもらいます。また、顔を合わせる機会・接点づくりを進めます。
- みんなが参加できる、また人が集まる楽しいイベントを開催し、参加を促進していくため、地域団体等のネットワークの活用や自治会町内会への加入を促進します。
- どんなボランティアがあるか見える化し、得意を活かした役割分担をしてもらえるようにします。
- 担い手の育成について、「ボランティアやイベントから」と「担い手不足を小/中学生から」をキーワードに進めていきます。



ふれあいたいサロン



福祉ネットワーク交流会

こんなことを取り組みました

- コロナ禍で止まっていた活動も再開し、さまざまな活動に取り組みました。見守りあい、みんなで「住んで良かった荇田南地区」をつくってきました。
荇田南小学校に協力してもらい、子ども会入会の呼びかけチラシを全校保護者に配布していただいたり、子ども会のラジオ体操を復活させ、シニアグループとのコラボを実現させるなど、地域のなかの連携も進みました。
- 荇田南安心♡便利ノートを16年ぶりに更新しました。冊子とWebを連動させ、両方の良さを活用したつくりになりました。



シニアサロン

これからここに力を入れていきます

- これからも「住んで良かった荇田南地区」を目指して、地域で一体となって取り組んでいきます。
- 地域のみなさまに認知症の理解を深めて頂くために、連合定例会で認知症勉強会を開催していきたいです。
- ホームページの充実を図り、地域の魅力を発信していきたいです。



安心♡便利ノート



こんなことを取り組みました

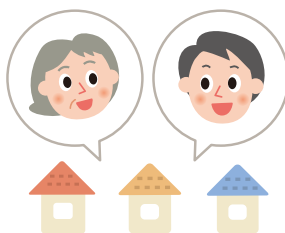
- 地域活動の拠点としてさまざまな活動団体に活用してもらえるように、自治会館の予約表を見やすくしたり、ごみ集積所のミニ掲示板も活用して情報を伝える工夫をしました。
- 「渋沢フェスティバル」や「納涼盆踊り大会」など住民同士のつながりが生まれるイベントを開催し、あらゆる世代や団体が一緒に楽しみながら交流を図りました。
- 「渋沢フェスティバル」は、10月に行われる「渋沢フェスティバルレクリエーション大会」と3月に行われる「渋沢フェスティバルステージパフォーマンス」の2部制で開催しました。



敬老の集い

これからここに力を入れていきます

- さまざまな年齢層に届くようにこれまでの情報発信に加えて「渋沢社協新聞」も活用していきたいと思えます。災害時要援護者支援事業「つづき そなえ」の取組についても広報紙で広く発信していきます。
- 地域の中で子どもや高齢者への声かけが広がるよう、見守りグッズや身近な居場所への参加を通じてご近所同士のつながりを深めたいと思えます。



渋沢フェスティバルレクリエーション大会



こんなことを取り組みました

- コロナで中断していた夕涼み会をはじめ、敬老の集いやクリスマス会などを再開し、多くの住民に参加いただきました。
- つながりづくり活動では、多くのシニア層が参加しています。また、コロナ禍で外出の機会が減ったとの意見から、新たにラジオ体操を始めました。
- 活動の認知度が上がり、新規の方が参加しやすくなるよう、各自治会への情報提供を継続的に行いました。
- 災害時要援護者の方に「救急医療情報キット」を提供し、救急隊が速やかに救助できる環境を整えました。また、年度ごとの情報更新も行っています。
- 講師の先生を招き、『マンションで「ゆるやかにつながる」タネをまこう!』をテーマに、連合自治会の理事会役員などを対象に研修会を開催しました。



大人のクリスマス会

これからここに力を入れていきます

- MGCRS地区のホームページを立ち上げ、関係団体の情報を提供するとともに、活動者の輪を広げます。
- 地域活動に参加しやすいよう、さまざまな活動の年間・月間スケジュールを作成し、お知らせします。
- 支援を必要とする人には、自治会だけでなく、知り合い同士というつながりで支援する活動も含めて、対応していきたいです。
- 住民同士が気楽に顔を合わせる機会を少しでも多くつくってきたいです。
- 地域の関係団体が、共同で、地域福祉保健の仕組みを学べる場を設け、PRします。



夕涼み会

こんなことを取り組みました

- 高齢者の孤立を防ぐために、地域全体でサロンやウォーキング、麻雀の会などを継続して開催しました。また、自治会ごとに身体を動かすグループ活動やイベントも行いました。
- 「ふれあいの丘連合祭」の開催に向けて現役世代も積極的に参画し、子育て世代も楽しく交流することができました。
- 「おはよう食堂」や「障害理解のための講座」を開催し、子どもや障害のある方が地域で安心して過ごせる環境づくりに努めました。



あいテラス（ボッチャ）

これからここに力を入れていきます

- これまでの地域行事やイベント、自治会ごとの活動を継続しながら、若い世代と一緒に楽しめるような工夫をしていきます。
- また、現役世代に地域活動を知ってもらうことで新しいつながりが生まれ、地域全体で子どもから高齢者まであらゆる世代が支えあうつながりづくりを目指します。



おはよう食堂



こんなことを取り組みました

- 自治会ごとに災害ボランティア組織を立ち上げて住民同士の支えあいの仕組みを作り、地域住民と一緒に初期消火訓練や炊き出し交流会などを実施しました。また、ハートカード登録者に対する見守り訪問や安否確認訓練を行いました。
- 連合夏まつりやどんど焼きなど地域の伝統行事を開催し、子どもから高齢者まで幅広い年齢層が来場・参加して交流を深めることができました。



五丁目炊き出し訓練

これからここに力を入れていきます

- ハートカードの情報更新や支えあいマップを活用した見守り訪問や安否確認訓練を継続していきます。また、災害時要援護者支援における各種訓練や情報交換などを通じて、自治会・災害ボランティア・地域住民とのつながりを強化していきます。
- 健康づくりとして、ウォーキングや体力測定会など地域全体で参加できるイベントを開催し、自治会と地域住民、住民同士がつながる機会を増やしていきたいと思います。



連合夏まつり

